

ボーリング柱状図

調 査 名

ボーリングNO.

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	No.B-1			調査位置							北 緯	36 ° 34 ' 11.8800 "			
発 注 機 関	栃木県宇都宮土木事務所					調査期間	2009-06-18 ~ 2009-06-23					東 経	139 ° 51 ' 38.9700 "		
調 査 業 者 名				主任技師		現 場 代 理 人				コ ア 鑑 定 者			ボーリング責任者		
孔 口 標 高	130.68 m	角		方 向		地盤勾配		使用機種				ハンマー落下用具			
総掘進長	12.41 m	度	0° 0.00°					エンジン				ポ ン プ			

標尺	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状 図	土質 区分	色調	相対 密度	相対 稠度	記事	地層岩体 区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		室内 試験	掘進 月日	
												深度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃回数 ／ 貫入量 (cm)	深度 (m)	試験名 および結果	深度 (m)	試料 番号			採取 方法
													0	10	20								
	(m)	(m)	(m)	(m)								(m)											
1	130.43	0.25	0.25		表土 (SF) ローム (Lm)	暗褐			深度0.～0.10mは、碎石による敷砂利。 以深部はシルト。含水量中・少位。 粘着性・少位。 含水量・中位。粘着性・中位・少位。			1.15 17	1 1	3 6	33	3							
2	128.68	1.75	2.00		軽石 (Pm)	黄褐			径1～5mm程度の鹿沼軽石。粒子は指圧で潰れる。 含水量・中位・多位。粘着性・少位。 スコリアが混じる。			2.15 20	1 1	2 20	40	2							
3	127.53	1.15	3.15		ローム (Lm)	褐			含水量・中・多位。粘着性・中位。		06/19 3.70	3.15 40	1 1	1 40		1							
4	126.98	0.55	3.70		砂礫 (GS)				最大礫径30cm内外が混じる。 径10～30mm程度の円礫主体に、 径30～60mm程度の粗礫が混じる。 マトリックスは粗～中砂主体に細粒分を含む。 7.0m以深は掘進長6～10cm程度の玉石が点在する。 8.0m以深は細粒分が多く混じる。 10.3～10.7m付近は砂分が多く、 含水量・多位。 10.6m付近は若干の逸泥がある。			3.55 22		3 25	50 22	>50							
5												4.15 17		15	18	50 30	50						
6												5.15 19		17	14	50 30	50						
7												6.15 7.15				50 20	>50						
8						褐灰						7.35 8.15		38 12	8	50 18	>50						
9												8.33 9.15				37 30	37						
10												9.45 10.15	10	12	15	22 30	22						
11												10.45 11.15	9	6	7	50 5	>50						
12	118.27	8.71	12.41									11.20 12.15	50 17		15 18	50 6	>50						
												12.41				26	>50						